



明日から7月となり、子どもたちが楽しみにしている夏休みがもうすぐです。5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから生活環境が変化しており、子どもたちが様々な感染症にかかる機会が増えてきています。県内においても夏の感染症の発生が確認されています。基本の「手洗い」と「規則正しい生活習慣」を続けていき、元気に夏休みを迎えてほしいと思います。



「からだのきろく」を配付しました

本日、実施済みの健康診断結果を記入した「からだのきろく」を配付しました。ご家庭でご確認いただき、保護者の欄に押印をしたものを、担任までご提出くださるようお願いいたします。

提出期限：7月7日（金）

からだのきろくは、9月の身体計測の際に使用しますので、期限までに提出のご協力をお願いいたします。

夏休みは治療のチャンス



「治療勧告」を受け、受診をしてくださりありがとうございます。病院への受診がまだの方は、夏休み中の受診にご協力をお願いいたします。すでに医師等による管理中で、受診の必要のない方は、その旨を連絡帳等でお知らせください。

6/28 現在までの治療済み報告書 (%)



歯科検診
むし歯治療率 25.9%
歯科全体受診率 26.1%

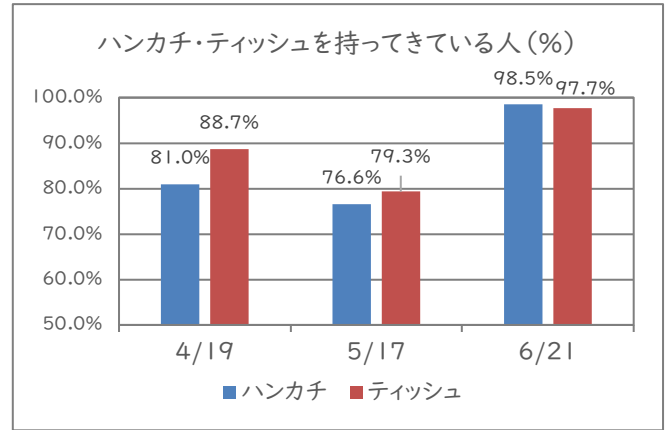


視力検査
受診率 25.6%



ハンカチ・ティッシュについて

学校では、児童保健委員会が週に1回ハンカチとティッシュを持ってきている人の人数を調べています。徐々に持ってくる人の人数が増えてきました。今後は、手を洗ったらハンカチでふく習慣をつけていきたいと考えています。お子様が毎日新しいハンカチを持ち歩けるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。



なつげんきす 夏を元気に過ごそう

学校では、熱中症予防のためにエアコンを活用して過ごしています。エアコンを使っているときに、「寒気がする」、「体がだるい」や「頭が痛い」と感じている人もいるのではないのでしょうか。それは「冷房病」かもしれません。



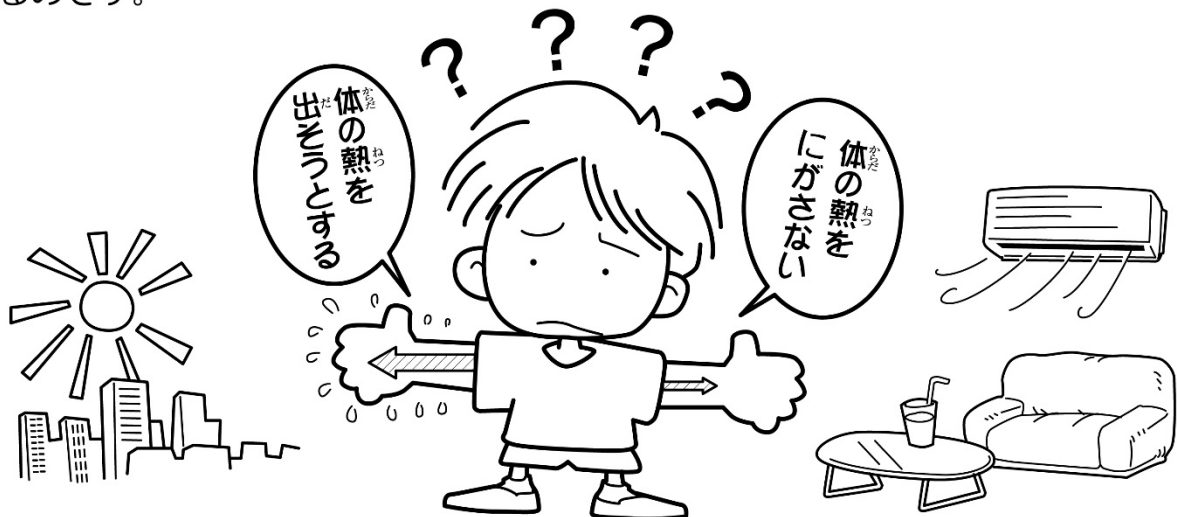
児童のみなさんも読んでみよう。



冷房病はどうしておこる？

人の体は、できるだけ体の中の状態を一定に保とうとします。ですから、外が暑くて体温が上がったときは熱をにがそうとし、寒くて体が冷えてきたときはにがすまいとします。このしくみは体の中で自然に行われるものです。

ところが温度差が大きい場所を行き来すると、体が暑さにあわせていいのかずすしさにあわせていいのかわからなくなります。そのため、知らないうちにつかれがたまっていたり、暑いのに寒いと感じたり、血液がうまく体の中を流れなかったりするのです。



ひつよう おう も
必要に応じて持ってきてきましょう

- ◇ 汗^{あせ}ふきタオル・・・汗^{あせ}をそのままにしていると、体^{からだ}が冷^ひえます。
- ◇ 着^{きが}替えの下^{したぎ}着・・・ぬれた下^{したぎ}着をそのまま着^{きが}ていると、体^{からだ}が冷^ひえます。
- ◇ はおれる上^{うわぎ}着・・・エアコンが寒^{さむ}すぎる時は、上^{うわぎ}着で調^{ちようせつ}節します。